平成25年度海外留学奨学金一覧

奨学金名称	対象者	支給額 (平成25年度)	募集人数 (平成25年度)	返還義務	応募期間 (平成25年度)
独立行政法人日本学生支援機構 第二種奨学金(短期留学)	国内の大学等に在籍中で、平成25年度中に海外の大学・大学院・短期大学に下記(1)(2)(3)のいずれかの条件で留学を希望する人で、優れた資質を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる人。 (1) 本学の学生交流に関する協定等に基づき留学であること (2) 留学により取得した単位が、本学の単位として認定される留学であること (3) 大学院在籍中の学生のための留学で、本学学長が有意義と認めた留学であること	(大学) 3、5、8、10、12万円/月の 中から選択 (大学院) 5、8、10、13、15万円/月の 中から選択	—	有 (有利子)	【留学開始時期】 平成25年4月～7月 平成25年8月～11月 平成25年12月～平成26年3月 【応募締切】 平成25年1月18日(金) 平成25年5月10日(金) 平成25年9月6日(金)
【追加募集】 独立行政法人日本学生支援機構 第二種奨学金(海外)	国内の大学又は大学院から海外の大学院に進学希望の者で、以下のいずれかに該当し、優れた資質を有し、経済的理由により修学に困難があると認められる者。 (1) 平成25年3月末に国内の大学を卒業する者、または申込時において国内の大学を卒業後2年以内の者で、平成25年4月～平成26年3月に海外の大学院修士課程の本課程に入学が見込まれる者。 (2) 平成25年3月末に国内の大学院修士課程を修了する者、または申込時において国内の大学院修士課程を修了後2年以内の者で平成25年4月～平成26年3月に海外の大学院博士課程の本課程に入学が見込まれる者。	5、8、10、13、15万円/月の中から選択	—	有 (有利子)	【進学時期】 平成25年4月 平成25年5月～平成26年3月 平成25年8月～平成26年3月 平成25年12月～平成26年3月 【応募締切】 平成25年1月28日(金) 平成25年2月8日(金) 平成25年5月10日(金) 平成25年9月13日(金)
日米教育委員会 フルブライト奨学金 ※奨学金のプログラムは下記の5種類 ・大学院留学(学術系学位)プログラム ・大学院留学(専門職学位)プログラム ・大学院博士論文研究プログラム ・研究員プログラム ・ジャーナリストプログラム	【全プログラムに共通する応募資格要件】 1. 日本国籍を有すること。(日米の二重国籍者あるいは米国外永住権を持つ者は応募不可) 2. 日本在住の者。 3. 米国内で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語能力があること。また、学術的能力のみならず、高いコミュニケーション能力があること。 4. 米国内で研究を計画しているテーマに関する専門知識に限らず、広い視野と関心を有すること。 5. 米国内で支障なく学術活動が行えるよう、心身ともに健康であること。 ※その他、各プログラムの応募資格要件については、募集要項を参照。 http://www.fulbright.jp/grant/	基本的に全額支給 ※往復渡航費(現物支給)、生活費(留学先によって金額が異なる)、授業料(大学院留学プログラムのみ)及び家賃、着後雑費、別途荷物、同伴家族に対する補助手当て、疾病・傷害をカバーするフルプライドグループ保険(本人のみ)を含む。	プログラムにより異なる	無	平成25年5月31日募集締切
(財)中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生	日本に在住する平成25年4月1日現在30歳以下の者で、平成25年度中(平成25年4月1日から26年3月31日まで)に留学し、かつ、次のいずれにも該当する者。 (1) 海外の大学(又はこれに準ずる機関)の修士号又は博士号を取得するために留学する者 (2) 学業、人物ともに優秀であって、健康である者 (3) 外国語能力について、留学先での教育研究に支障のない者 (4) 国際理解及び我が国と諸外国との友好、親善に寄与できる者 ※対象分野: (1)情報科学 (2)生命科学 (3)経営科学	(1) 奨学金 月額 20万円 (2) 渡航費 往復支給 (3) 支度金 20万円 (4) 授業料 留学当初の2年間に限り、年間300万円以内を支給します。 (ただし、実際に負担する場合のみ。)	全国で10名程度	無	平成24年9月～10月中旬
(公財)業務スーパージャパンドリーム財団	1.日本国籍を有し、平成25年4月1日現在で35歳以下であること 2.他の奨学金を受給していないこと 3.財団の交流会に必ず出席すること 4.平成25年9月末までに留学を開始し、協定プログラムで定められた対象大学の在学期間が6ヶ月以上であること 5.留学中もしくは修了後に報告書を提出すること 6.奨学生修了後、財団の公益活動に協力できること 7.留学先で専門科目を履修すること	(1)奨学金 月額 8万円 (2)支給期間 満6ヶ月以上12ヶ月以内	全国で10名程度	無	平成25年1月～2月下旬
社団法人日中友好協会 中国長期留学生(公費)	1.日本国籍を有する者 2.日中国の友好の増進となるようとする意欲をもつ者 3.留学期間中、毎月のレポート提出を行える者 4.心身ともに健康で、団体生活のできる者 5.中国の法律法令、学則、制度を順守する者 6.学歴、年齢および中国語能力について次の各条件に於てはまる者 ※出願時 A) 漢語進修生… *高等学校卒業以上の者(2012年3月卒業見込者を含む) *年齢は30歳までの者(1981年9月1日以降生まれの者) *高校、大学等の正規機関(課程)で授業として中国語を履修している(していた)者 B) 普通進修生… *大学院2年次以上または、「専門士」の資格を与えられる専門学校卒業した者 *年齢は45歳までの者(1966年9月1日以降生まれの者) *HSK(漢語水平考試)6級(新HSK5級)以上取得者(2年以内に取得したもの) C) 高級進修生… *大学院修士あるいは博士の学位を有する者 *年齢は50歳までの者(1961年9月1日以降生まれの者) *HSK(漢語水平考試)6級(新HSK5級)以上取得者(2年以内に取得したもの) 7.当協会より公費留学生として派遣されたことのない者	1.学費と寮費の免除 2.奨学金の支給(漢語進修生1400円/月、普通進修生1700円/月、高級進修生2000円/月) 3.到着一時金:1500円	漢語進修生、普通進修生、高級進修生 計20名	無	平成25年2月

【外国政府等奨学金】

外国政府等奨学金は、各政府等によって支給条件(年齢、在学期、対象分野、支給月額、支給期間など)が異なります。また、募集時期もまちまちとなっておりますので、下記URLから各自で随時確認してください。

http://www.jasso.go.jp/study_a/scholarships/foreign_closing.html

平成26年度募集予定の海外留学奨学金一覧

※現在募集中または募集予定の奨学金を記載。その他はH25募集一覧をご参照ください。各事業の募集は学部を通して周知します。随時ご確認ください。

奨学金名称	対象者	支給額 (平成24年度)	募集人数 (平成24年度)	返還義務	募集期間 (平成26年度予定)
香川大学国際交流資金 外国へ留学する学生奨助事業(予定) ※ 対象者等の詳細は変更の可能性あり。募集要項を要確認	平成25年度に外国の大学等へ留学する本学の学生で次の各号の一に該当し、部局長等が推薦する者。 (ただし、学期のはじまりが平成25年1月以降の大学においては、当該事業の対象とする) ① 大学の学生で、3年次以上に在学している者 ② 大学院(地域マネジメント研究科、香川大学・愛媛大学連合法務研究科及び愛媛大学大学院連合農学研究科を含む)に在学している者 ③ ダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラムにより外国の大学へ留学する学生で、部局長等が推薦する者	(1ヶ月～3ヶ月未満の場合)5万円 (3ヶ月以上の場合)5万円+25,000円/月	2名程度 10名程度	無	平成26年1月頃 ※平成25年11月に募集案内を掲示しますので確認してください
独立行政法人日本学生支援機構 留学生交流支援制度(長期派遣)	修士・博士の学位を取得するために留学(ダブルディグリープログラム等の複学位制度による留学を含む)する、日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、次の(1)～(9)に掲げる要件を確実にすべて満たす者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 留学期間終了後、大学や研究機関において、我が国の国際競争力の強化や国際社会への知的貢献に資する教育研究を行う意思を有する者 ② 留学期間終了後、国際機関等の中核的な職員として国際貢献に資する活動を行う意思を有する者 ③ 留学期間終了後、その他の機関において、①又は②に類する活動を行う意思を有する者 (2) 平成24年4月1日現在の年齢が次のとおりである者 ① 「修士」の学位取得を目的とする者: 32才未満 ② 「博士」の学位取得を目的とする者: 37才未満 (3) 学校教育法第二条に基づき設置された我が国の大学を卒業し学士の学位を有している者(学位取得見込みの者及び当該大学に複数年在籍し、諸外国の大学の学士の学位を取得又は取得見込みの者を含む) (4) 留学期間開始時に、大学、企業等に常勤・非常勤を問わず雇用されていない者 (5) 申請締め切り日以前に過去2か年以内に受験した英語能力又は語学能力が、一定の水準以上である者(一定の水準に満たない者で、応募時点で留学先大学から条件付き入学許可を得ているか、留学期間開始時まで確実に次の水準を満たす見込みがある者を含む) ※詳しい水準については、募集要項にて確認してください。 (6) 大学学部以後の直近(大学学部卒業見込み者又は修士課程修了見込み者については出願時点)の学業成績が、日本学生支援機構が定める方法で求められる成績評価係数の2.45以上である者 (7) 留学先大学での取得予定学位が、取得済み学位と同分野かつ同レベルでない者 (8) 留学先大学での勉学に耐えられる健康状態である者 (9) その他機構理事長が必要と認める条件を満たす者	(奨学金) 83,000円、108,000円、124,000円、156,000円のうち、いずれか(平成23年度実績。予算の状況により金額が変更となる場合がある。) ※渡航先によって金額が変わります。 (授業料) 1万米ドル相当までは実費額を支給ただし、2,500,000円を上限とする	未定	無	平成24年11月頃 ※募集案内を掲示しますので確認してください
独立行政法人日本学生支援機構 留学生交流支援制度(短期派遣)	学生交流に関する協定等にもとづいて、本学に在籍したまま3ヶ月以上1年以内の期間留学する学生で、次の①～⑨に掲げる要件を満たす者。 ① 正規課程に在籍する学生(日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者) ② 学生交流に関する協定等にもとづき、派遣先大学等が受入れを許可する者 ③ 学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、在籍校における推薦時の前年度の成績評価係数が2.30以上である者(前年度の成績がない場合は、推薦時の前学期分の成績から算出する。本学のGPA算出方法は異なります) ④ 留学の目的及び計画が明確で、留学による効果が期待できる者 ⑤ 経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者 ⑥ 留学期間終了後、在籍校に戻り学業を継続する者又は在籍大学等の学位を取得する者 ⑦ 派遣先校所在国への留学に必要な査証を確実に取得し得る者 ⑧ 留学にあたり、他団体等から留学のための奨学金を受けられる場合、他団体等からの奨学金の支給月額の合計額が8万円を超えない者 ⑨ 過去に本制度を利用したことのない者、もしくは本制度を利用して留学したことがある場合、その留学期間終了後3年を経過した者	8万円/月	未定 (当該年度の留学計画数に基づき、割り当てがある。)	無	平成24年秋頃
皇太子明仁親王奨学金	(1) 日本国籍を有する者(二重国籍を持たない)者 (2) 当奨学金応募時に、日本の大学の大学院修士課程もしくは博士課程に在籍している者 (なお、応募時に日本の大学の4年に在籍しており、平成26年4月1日に日本の大学院に進学することが確実な者の受験も認める。) (3) TOEFLの成績がBT92点(PBT580点)以上の者 (4) 当奨学金に応募したことのない者 (5) 他の奨学金を受けると予定のない者(併願は可) ※奨学金支給にあたっては、ハワイ大学マアノア本校に合格することが前提。出願準備、出願は各自で行うこと。	① ハワイ大学の学費免除 ② 生活費等として年間25,000ドル ③ 渡航旅費(上限あり)	全国で1名	無	平成25年11月18日(月)～11月29日(金)
平和中島財団 日本人留学生奨学生	(1) 日本国籍を有する者(永住権を有する者は含まれる) (2) 専攻、留学先国、学歴、年齢、留学経験の有無等に制限はないが、留学する大学等において、教育を受けるのに十分な語学力を有する者(必要水準あり) (3) 学籍取得及び留学開始が2012年度である者 (4) 日本国内に居住する者	学部学生: 月額15万円 大学院生: 月額20万円 及び往復渡航費	全国で15名	無	平成25年9月1日(月)～10月31日(木)